

令和 5 年 6 月 12 日現在

機関番号：32689

研究種目：若手研究

研究期間：2019～2022

課題番号：19K20519

研究課題名（和文）紛争後地域における住民組織の役割：環境保全と政策

研究課題名（英文）The Role of Community Organizations in Post-Conflict Society: Environmental Conservation and Policies

研究代表者

宮澤 尚里（Miyazawa, Naori）

早稲田大学・社会科学総合学術院(先端社会科学研究所)・主任研究員

研究者番号：80625476

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,100,000円

研究成果の概要（和文）：紛争後社会における環境管理のために、住民組織の持つ役割を明らかにし、その役割に影響している政策を分析することを目的として研究を実施した。インドネシア及び東ティモールにおいて適用してきた政策・制度を分析することにより、住民組織をとりまく政策・制度について、比較分析できた。さらに、インドネシアにおいて、住民組織の機能と役割について、フィールド調査を行った。複数村における事例研究とアンケート調査を実施し、地方自治体、大学、村落組織、住民組織の関係者、住民らに対しインタビュー調査を行い、異なる視点からの意見を元に分析を進め、研究成果を発信することができた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究は、紛争後地域における住民組織の役割を分析し、海外のフィールド調査に基づく実証研究という、大きな特色を持つ。地方自治体、大学、村落組織、住民組織の関係者、住民からの異なるアクターからの聞き取り調査をもとに分析しており、政策立案のプロセスに有益となる研究成果を提示している。本研究は、具体的な事例研究を示すことにより、研究者及び実務者にとって有益な研究である。

研究成果の概要（英文）：The research has been conducted to identify the role of community-based organizations in environmental management in post-conflict societies and to analyze the policies that affect these roles. By analyzing the policies that have been applied in Indonesia and Timor-Leste, a comparative analysis of the policies and institutions regarding community organization has been conducted. In addition, a series of field surveys were implemented on the functions and roles of community organizations in Indonesia. Several case studies were conducted in some villages, including interview surveys with local governments, universities, village organizations, and community members involved in community organizations.

研究分野：環境管理、コミュニティ開発

キーワード：環境保全 住民組織

## 1. 研究開始当初の背景

紛争後社会の平和構築のプロセスにおいて、適切な環境管理が重要であるという認識は、国際社会でも徐々に高まってきている。これまでの研究で、紛争の根源的原因ともなってきた環境資源は、紛争後の復興の成否に影響を与えており、平和構築プロセスにおいて重要な役割を持っていることを明らかにした。そして、紛争後の時期において、政府機能が限られる状況で、多くの地域において、住民組織が復興し環境保全活動を始める等、住民組織が新たな機能を持っていることも観察してきた。

本研究で着目したのは環境管理の「アクターのバランス」である。「環境資源」は管理の方法によって、長期的な平和構築の「糧」になり得る一方で、新たな紛争の「火種」となる可能性の両側面を備えていることがわかった。そのプロセスで重要となるのは、ステークホルダーの分析である。例えば、東ティモールでは、紛争後の政治的・社会的移行期において、政府統治能力が限られる状況においては、住民組織らが新たな役割を持ち始めたことがわかった。紛争後の時期において、住民組織が主体となって環境管理をすることによって、多岐に渡る機能を持ちあわせてきた。

## 2. 研究の目的

紛争後社会における環境管理のために、住民組織の持つ役割を明らかにし、その役割に影響する政策を分析することを目的とし研究を実施した。

## 3. 研究の方法

研究方法は、インドネシア及び東ティモールを事例研究の主対象とし、文献調査、フィールド調査、ヒアリング調査を実施した。

## 4. 研究成果

紛争後社会における住民組織の役割について、その役割に影響する法政策と環境への適用事例を検証し分析した。主要事例として、インドネシア及び東ティモールにおいて適用してきた政策・制度を分析することにより、住民組織をとりまく政策・制度について、比較分析できた。特に、インドネシアにおいて、住民組織の機能と活動参加状況について、フィールド調査を行った。さらに、住民組織における住民らの活動参加状況とその影響について、複数村におけるケーススタディとアンケート調査を実施することができた。特に、地方自治体、大学、村落組織、住民組織の関係者、住民らに対しインタビュー調査を行い、異なる視点からの有益な意見を聞き取ることができた。調査結果を元に、住

民組織をめぐる政策・法制度と活動実態を分析し、住民組織とその活動の持つ新たな役割について分析することができた。コミュニティとのアクション・リサーチも実施し、住民組織に影響を与えている制度・要因、対応策について調査分析することができた。そして、国際会議の招聘を複数回受け、これまでの研究成果を発表することができた。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計3件（うち査読付論文 2件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 1件）

1. 著者名 Miyazawa Satoru, Miyazawa Naori	4. 巻 9
2. 論文標題 Harnessing Lisan in Peacebuilding: Development of the Legal Framework Related to Traditional Governance Mechanism in Timor-Leste	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Asian Journal of Peacebuilding	6. 最初と最後の頁 163 ~ 181
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18588/202105.00a175	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 宮澤哲、宮澤尚里	4. 巻 6
2. 論文標題 東ティモールにおける国際社会からの支援と慣習法の関係の変化	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 アジアの法整備支援	6. 最初と最後の頁 205-240
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計18件（うち招待講演 16件 / うち国際学会 15件）

1. 発表者名 Naori Miyazawa
2. 発表標題 Enhancing Agricultural Resilience in the Face of Covid-19
3. 学会等名 The 1st Warmadewa International Conference on Science, Technology, and Humanity (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Naori Miyazawa
2. 発表標題 Agricultural Sustainability after the COVID-19 Pandemic
3. 学会等名 The 2nd international conference on sustainable cereals and crops production system in the tropics (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Naori Miyazawa
2. 発表標題 Impact of Covid-19 on Sustainable Agriculture
3. 学会等名 The joint conference of the 9th Asian-Australasian Conference on Precision Agriculture (ACPA) and the 1st International Conference on Innovative Agricultural Technology (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Naori Miyazawa
2. 発表標題 Sustainable development after COVID-19 in Bali
3. 学会等名 Environment for a new era of Balinese life (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Naori Miyazawa
2. 発表標題 Agricultural development in the era of new normal in Bali
3. 学会等名 Achieving regenerative and Sustainable Development Goals (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Naori Miyazawa
2. 発表標題 Strategic Marketing Naturing Sustainable Agricultural Development in the New Normal Condition
3. 学会等名 Marketing Strategies of Agricultural Products for welcoming the new normal condition (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 宮澤 尚里
2. 発表標題 The role of community organizations in combating coronavirus: case study from Indonesia
3. 学会等名 神戸大学リスクマネジメントセミナー（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Naori Miyazawa
2. 発表標題 Natural Resource Management based on Community- Case studies from Timor-Leste and Indonesia
3. 学会等名 神戸大学リスクマネジメントセミナー（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Naori Miyazawa
2. 発表標題 Natural Resource Management: Case studies from Bali and Japan
3. 学会等名 2nd international conference on Science Technology and Humanities 2019（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Naori Miyazawa
2. 発表標題 Agriculture Development :Analysis based on case studies from Bali and Japan
3. 学会等名 International Workshop Dwijendra University（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Naori Miyazawa
2. 発表標題 Sustainable Development with Social Innovation and Community
3. 学会等名 International conference: Multi-disciplines approaches for the sustainable development (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Naori Miyazawa
2. 発表標題 Supporting Food Value Chain for Sustainable Agriculture
3. 学会等名 1st international seminar on community services (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Naori Miyazawa
2. 発表標題 Sustainable Development under the Impact of COVID-19
3. 学会等名 International Workshop: Academic Exchange Program between Waseda University and Naresuan University (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Naori Miyazawa
2. 発表標題 Governance of Heritage Area
3. 学会等名 International Seminar Heritage in South East Asia (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Naori Miyazawa
2. 発表標題 Environmental Conservation Effort to Sustainable Agriculture
3. 学会等名 International Lecture, Warmadewa University (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Naori Miyazawa
2. 発表標題 Social and Business at Japan Rural Area
3. 学会等名 International Seminar 2022, College of Social Political Science (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Naori Miyazawa
2. 発表標題 Intellectual Property and University in Japan
3. 学会等名 Socialization of Protection and Inventory Results of of Intellectual Property Right of Wayang Wong (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 宮澤尚里
2. 発表標題 地域社会における伝統文化の現代的役割
3. 学会等名 『国際開発学会』全国大会
4. 発表年 2022年



〔図書〕 計3件

1. 著者名 宮澤哲、宮澤尚里	4. 発行年 2020年
2. 出版社 旬報社	5. 総ページ数 546
3. 書名 島田弦編『アジア法整備支援：インドネシア 民主化とグローバルゼーションへの挑戦』	

1. 著者名 宮澤 尚里	4. 発行年 2020年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 208
3. 書名 紛争後の東ティモールの環境管理	

1. 著者名 Naori Miyazawa	4. 発行年 2023年
2. 出版社 Padjajaran University Press	5. 総ページ数 300
3. 書名 Youth and Social Design	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------

インドネシア	ウダヤナ大学			
インドネシア	ワルマデワ大学			